

令和4年度決算

財政状況(まちの財布)の健康診断

決算は、4月から翌年3月までに町のお金がどのように使われたかをまとめたものです。

令和4年度決算の町の財政状況(まちの財布)をお知らせします。

※決算のくわしい内容は、町ホームページをご覧ください。

問 財政管財課 ☎0178-56-4278



Point① おいらせ町のお金の出入りは？

町の各会計のお金の出入り(決算額)を見てみましょう

● 一般会計の決算額

一般会計は、町税や国からの地方交付税の収入をもとに、福祉・教育・道路整備などの、生活につながるの
ある行政サービスを行う会計です。

一般会計の決算収支は、歳入総額 121 億 3,118 万円 (前年度比 5,741 万円増)、歳出総額 117 億
7,155 万円 (前年度比 7,742 万円増)となり、いずれも前年度より増加しました。原油価格・物価高騰対策とし
ての補助費、および公共施設等の設備整備等工事費の増加が主な要因です。

会計名	歳入	歳出	差引額
一般会計	121億3,118万円	117億7,155万円	+3億5,963万円

● 特別会計の決算額

特別会計は、特定の目的の事業を行う会計で、一般会計とは区別しています。

6つある特別会計の決算収支は、歳入総額 62億4,345万円 (前年度比1億2,138万円増)、歳出総額
60億2,569万円 (前年度比7,480万円増)となり、いずれも前年度より増加しました。

会計名	歳入	歳出	差引額	
特別会計	国民健康保険	22億9,568万円	22億5,008万円	+4,560万円
	奨学資金貸付事業	1,549万円	1,505万円	+44万円
	公共下水道事業	10億2,837万円	10億2,160万円	+677万円
	農業集落排水事業	2億5,533万円	2億5,156万円	+377万円
	介護保険	23億9,188万円	22億3,695万円	+1億5,493万円
	後期高齢者医療	2億5,670万円	2億5,045万円	+625万円
合計	62億4,345万円	60億2,569万円	+2億1,776万円	

● 企業会計(病院事業)の決算額

企業会計は、民間企業のように利用料等により事業を行う会計です。町には病院事業会計があります。病院事
業会計の収益的収支決算は、歳入総額 9 億 8,686 万円(前年度比 406 万円減)、歳出総額 9 億 2,600 万円
(前年度比 2,547 万円減)で差引額 6,086 万円の純利益が生まれ、前年度に引き続き黒字になりました。

会計名	歳入	歳出	差引額	
病院事業	収益的収支	9億8,686万円	9億2,600万円	+6,086万円
	資本的収支	1億5,903万円	1億7,473万円	△1,570万円
合計	11億4,589万円	11億 73万円	+4,516万円	

※病院事業の資本的収支で不足になった分は、損益勘定留保資金で補てんしました。

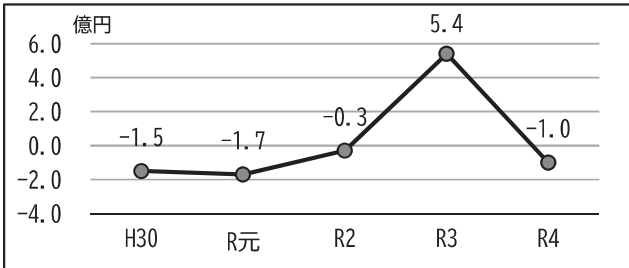


Point② 町の財布は健康？

財政指標から見るまちの財布

財政指標は、決算数値から町の財政状況を測る「ものさし」のようなものです。どのような観点から財政状況を測るかによって、様々な指標があります。

● 町の1年間の収支(実質単年度収支)

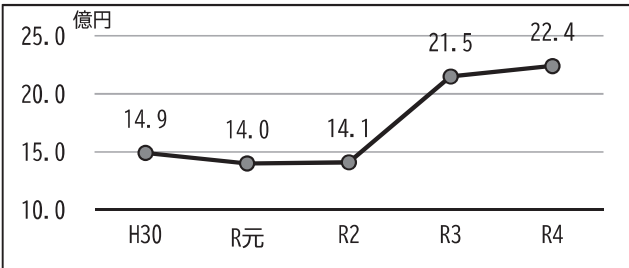


1年間における財政状況の実態を測る指標で、基金の取り崩しや積立金などの要素を取り除いて、1年間の収支がどのようなものかを見る指標です。

令和4年度は、2年ぶりの減少となりました。



● 町の貯金残高(財政調整基金残高)

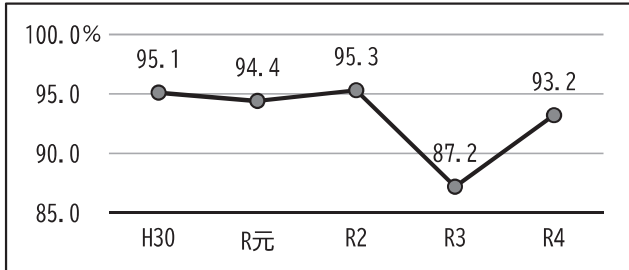


財政調整基金は、年度間の収支不均衡を埋めるための基金であり、よく貯金に例えられます。

令和4年度は、前年度に引き続き増加となりました。



● 町の財布の余裕度(経常収支比率)

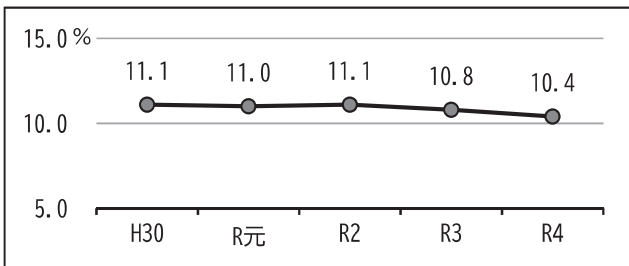


経常収支比率は、経常的な収入を経常的経費に充てた割合を表す指標です。この割合が高いほど、急な出費にお金を回す余裕がないといえます。

令和4年度は、前年度より大きく増加し、余裕に乏しい状態となりました。



● 町の借金返済の負担度(実質公債費比率)

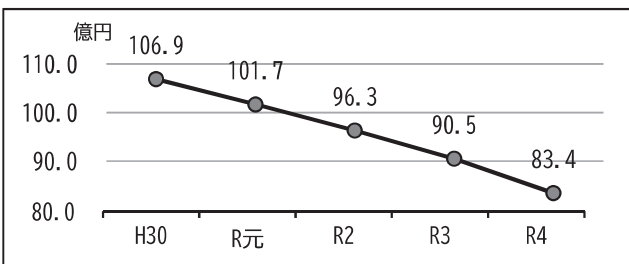


実質公債費比率は、借入金返済の負担の大きさを示す指標です。この比率が高いほど借入金返済が財政を圧迫していることを示しています。

令和4年度は10.4%となり、前年度に引き続き減少しています。



● 町の借金残高(地方債現在高)



地方債とは、町が資金調達のために負担する借入金のことです。この残高が大きくなると、将来負担すべき債務が増加していることを表します。

令和4年度は5年連続の減少となりました。



Point③ 町の財布を家計簿に例えたら？

おいらせさんの家計簿

町の1年間の歳入歳出を、家庭の1か月あたりの収入と支出に置き換えて、家計簿にしてみました。おいらせさんのおうちは6人家族で、1か月の収入は50万円です。やりくりはどのようになっているのでしょうか。

おいらせさんの家計簿

収入		支出	
お父さん、お母さんの給料 (町税、地方交付税等)	302,000円	医療費・子どもの学費 (扶助費)	119,000円
おじいさん、おばあさんの 年金 (国・県支出金)	153,000円	光熱水費、日用品費 (物件費)	75,000円
貯金の取り崩し (繰入金)	15,000円	固定資産税の支払い、 田んぼの水利代等 (補助費等)	68,000円
銀行の借入金 (町債)	13,000円	子どもの仕送り (繰出金)	57,000円
田んぼの貸付料 (使用料、財産収入、寄附等)	10,000円	食費 (人件費)	53,000円
前月からの繰越金 (繰越金)	7,000円	ローンの返済 (公債費)	44,000円
収入の合計	500,000円	家のリフォーム代 (普通建設事業費)	39,000円
		家電製品や車の修理 (維持補修費)	15,000円
		積立金 (預金の積み立て)	14,000円
		その他 (親戚の援助など)	16,000円
		支出の合計	500,000円

MEMO	
貯金	借金
前月末残高 3,292,000円	前月末残高 4,158,000円
積み立て + 14,000円	借り入れ + 13,000円
取り崩し - 15,000円	返済 - 44,000円
貯金残高 = 3,291,000円	借入残高 = 4,127,000円

※) 家計簿の項目は例えを示したもので、決算項目の内容と異なります。



借金をしたり貯金を取り崩したりして、足りない分を補いながら、なんとかやりくりしているよ。

新型コロナウイルス感染症の影響などから、家庭や事業所への支援のための扶助費や補助費等が大きな割合を占めているね。それに、原油価格や物価が高騰している影響を受けて、物件費が大きくなっているよ。